

上益城郡町対抗駅伝大会で山都町Aチームが優勝。これで山都町は3大会連続4回目の栄光を勝ち取りました。

区間賞を獲得した方々



中川京香さん (3区)



橋本登志郎さん (4区)



栗屋育太郎さん (8区)



山都町 3連覇

～第36回上益城郡町対抗駅伝～

今年も、圧倒的な力を見せつけてくれました。12月18日に行われた、第36回上益城郡町対抗駅伝大会。今年は、昨年までの嘉島町、山都町のコースが変更になりました。今回のコースは、御船町役場をスタートし、嘉島町、甲佐町、御船町を経て、益城町陸上競技場をゴールとする、8区間34.6kmで、各町を代表する選手が健脚を競いました。

大会には、郡内5町から8チームが出場(山都町からはA・B2チームが参加)。山都町Aは、序盤から上位でレースを展開。2区でトップに立つと、3区中川京香選手と4区橋本登志郎選手が区間賞の走りで見せました。その後、一時甲佐町にトップを奪われましたが、7区藤本和秀選手の力走で再びトップに立つと、最終8区で、栗屋育太郎選手が区間賞の走り、後続を引き離し堂々のゴール。3連覇の偉業が達成された瞬間でした。2位の益城町Aチームに約1分半の差をつけ、1時間54分38秒という記録でした。



①



②



④

①御船町役場前を一齐にスタート②3区を走る中川選手。大会の優秀選手に選ばれました。③7区で再びトップに立った藤本和秀選手④歓喜のゴールの瞬間。8区栗屋選手



③

*優勝した山都町Aチーム (敬称略)

各区 (距離)	選手名	タイム	区間順位
1区 (3.3k)	西 隼人	10分57秒	4
2区 (4.2k)	藤河 貴也	13分29秒	2
3区 (3.1k)	中川 京香	10分20秒	1
4区 (4.8k)	橋本登志郎	14分54秒	1
5区 (4.7k)	大隈 草	17分40秒	8
6区 (3.1k)	一瀬 遥香	11分23秒	4
7区 (6.1k)	藤本 和秀	19分11秒	2
8区 (5.3k)	栗屋育太郎	16分44秒	1

▼結果 (総合)

- ①山都A 1時間54分38秒
 ②益城町A ③御船町 ④甲佐町A ⑤嘉島町 ⑥益城町B
 ⑦甲佐町B ※山都町Bはオープン参加

今大会のコース図



獲得した2個の銀メダル

大会2日目の行われた100m。藤嶋さんのエントリーはT44クラス(下肢切断)。4人が出場したこのレースで、2位でゴール。タイムは12秒76と自己3番目の記録を出しました。

4日目の行われた走り幅跳びは得意種目。藤嶋さんは5m18という今季世界ランク14位の記録を持っていました。しかし、ウォーミングアップ中に、幅跳び競技用の義足が壊れるというアクシデントが起こってしまいます。このため100mで使用した義足を急遽使用し、競技に臨みました。ウォーミングアップも試技も満足にできない状況のなか、藤嶋さん



走り幅跳び競技の藤嶋さん (写真は大分での大会時)

藤嶋 大輔さん 世界大会で2種目銀メダル

～IWAS World Games～



藤嶋大輔さん (山都町役場清和総合支所勤務)

藤嶋大輔さん(井無田)が、12月にアラブ首長国連邦で行われた、車いす使用者や上下肢切断者が競う障がい者スポーツ世界大会で、100m・走り幅跳び2種目の銀メダルを獲得しました。

藤嶋さんが出場したのは、世界車いす・切断者競技大会 (IWAS World Games)。これは、国際車いす切断者競技連盟 (International Wheelchair & Amputee Sports Federation, IWAS) が主催する、車いす使用者や上・下肢切断者を対象とした障がい者スポーツの総合競技大会。2011年はアラブ首長国連邦第3の都市シャルジャで12月1日～10日に開催されました。

はなんと自己ベストとなる5m20を跳び、見事銀メダルを獲得しました。「100mのタイムには満足していません。でも、大きな大会に出場することは大きな経験になる。」と語る藤嶋さん。今年ロンドンで開催されるパラリンピック。その最終選考会を兼ねる「九州チャレンジ大会」が3月に熊本市で行われます。「目標は2種目のオリンピック出場。厳しいが少しでも可能性があれば挑戦したい。」そう目標を話してくれた藤嶋さん。たくさんの方に障がい者スポーツについて興味を持ってもらい、若い競技者が増えてほしいと望む藤嶋さんの、ロンドン出場への道が見えてきました。



100mの表彰式 (壇上左から2人目が藤嶋さん)